

Stability Integrity Hawaii

E Komo Mai!

Hawaiicaptives.com によろこそ。

Hawaiicaptives.com は、ハワイ・キャプティブ保険会社に関する最も信頼のおけるニュースやイベントなどの情報源です。

キャプティブの設立をお考えですか？

ハワイのキャプティブ法やキャプティブ保険会社の設立プロセスについて、理解を深めましょう。

何故**ハワイ**には、150社を超えるキャプティブ保険会社が設立されてるのでしょうか？

1987年にキャプティブ設立地として制定されて以来、ハワイ州は環太平洋地域の**リーダー的キャプティブ設立地**です。ハワイには他に負けない専門家サービス、知識豊富なリソース、確立されたインフラ、そして世界的に認められた観光施設など世界でも最高級のものがあります。キャプティブ・オーナーの特有なニーズに応える**サービス・プロバイダーのリスト**をご参照下さい。

ハワイ・キャプティブ・インシュアランス・カウンシル(“**HCIC**”)について

キャプティブ業界は官民パートナーシップの好例です。ハワイ・キャプティブのオーナー各社とサービス・プロバイダー各社からなる**ハワイ・キャプティブ・インシュアランス・カウンシル**は、ハワイ州キャプティブ保険監督官庁と協力し、安定した質の高いキャプティブ環境をハワイで発展させることに努めています。

HCIC メンバーの皆様へ

アロハカードメンバー特典、**HCIC ニュースやイベント**、そして HCIC プロジェクトのアップデートをご覧下さい。

Stability Integrity Hawaii

何故ハワイなのか？

太平洋地域のリーダー的設立地

1987年にキャプティブ設立地として制定されて以来、ハワイ州は環太平洋地域のリーダー的キャプティブ設立地です。これは、運営されているキャプティブ数、業務をサポートするインフラ、引受保険料の総額などによっても立証されています。

ハワイには優れた会議施設、ハイテク通信機能、効率的な交通機関や他に引けを取らない専門家サービスなどアメリカの大都市と同様の利便性があります。また、他の設立地とは違ったユニークな特徴もあります。

徹底したチームワーク

キャプティブ保険会社成功への鍵は、関係者全員が密接に一丸となって取り組むことにあります。

ハワイでは長期にわたる人的関係が容易に形成されると同時に、質の高い人材確保が可能です。事実、ハワイにおけるスタッフの定着度は、キャプティブの親会社を上回ることが多いのです。この定着性ゆえに業務の継続性が確保され、担当者はそれぞれの分野での専門家に成長し、結果として革新的なプログラムの構築を可能とするベースを築くこととなります。

対応

ハワイ州保険当局では、申請されるキャプティブ保険会社それぞれの内容や特性を審査しています。こうした柔軟性によってそれぞれのキャプティブのニーズに対応することが可能となり、プログラムの構造や保険料設定などオーナーのニー

ズにも対応することができます。各社の目的に合ったしっかりとしたビジネス・ソリューションのためにオーナーをサポートする、というのが保険当局の信条です。

アップデート

我々のキャプティブ業界へのコミットメントは、教育と研究に重点をおいているということからも明白です。

キャプティブ・オーナーとサービス・プロバイダーを代表するハワイ・キャプティブ・インシュアランス・カウンシルでは、新商品やキャプティブ業界での変化が迅速にわかりやすく伝わるようなシステムを作成しました。

オンショアとしての安全性

税金回避や企業統治の欠如などの問題を避けるため、設立地の法律上、税務上における透明性の定評は、設立地の選択において重要です。ハワイに拠点を持つキャプティブに対する報告義務や規制上の要件が確立されていることは国際的にも認められており、ハワイはキャプティブ設立地として最も高い評価を得ている設立地のひとつです。

戦略的な位置

ハワイにはアメリカ国内主要都市 23 箇所と外国都市 27 箇所から直行便が就航しています。アメリカ西海岸からの飛行時間はわずか 4.5 時間、日本からの飛行時間は約 7 時間です。

ハワイ時間は太平洋時間から 2~3 時間遅く、アジアからは 5~6 時間早くなります。(ハワイには夏時間はありません。) つまり、キャプティブ・オーナーとハワイ担当者が通常の業務時間内に事業活動を行うことができます。

教育と多文化性

米国内及び国際的なキャプティブは、ハワイにある人材の能力を信頼できます。知識ある人材はハワイの誇りです。U.S. News and World Report 誌による国際ビジネスの格付けで、地元ハワイ大学のビジネススクールは国内で常にトップ 20 校のひとつにランクされています。また、日本語、北京語、広東語など第二言語を話す住民も多数います。

競合性のある価格

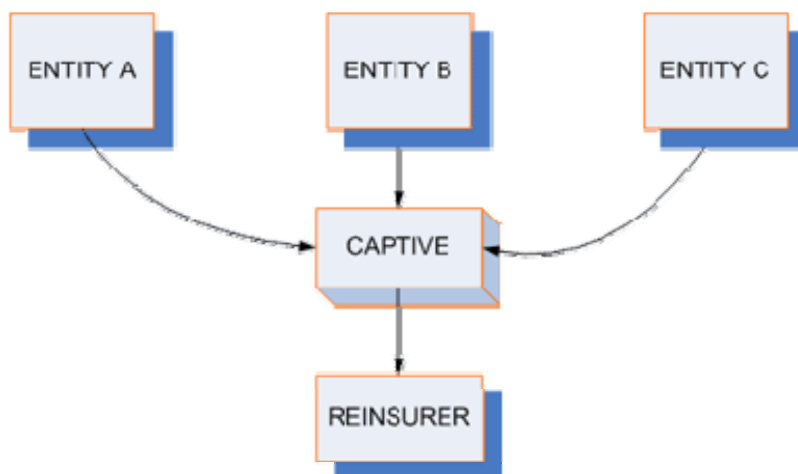
ハワイは世界中でも最も競合性の高い設立地のひとつです。間接費はオフショア設立地よりも小額ですし、保険料税や監督官庁への料金も経費のみをカバーするように設定してあります。ハワイ州政府は、優良企業を誘致する手段としてのキャプティブ産業の価値を認識しています。また、キャプティブがハワイの島々に観光客をもたらすことにも繋がっています。こうしたキャプティブによる間接的な経済効果のためにキャプティブ事業体から収益を上げる必要はないのです。

ニッチ商品

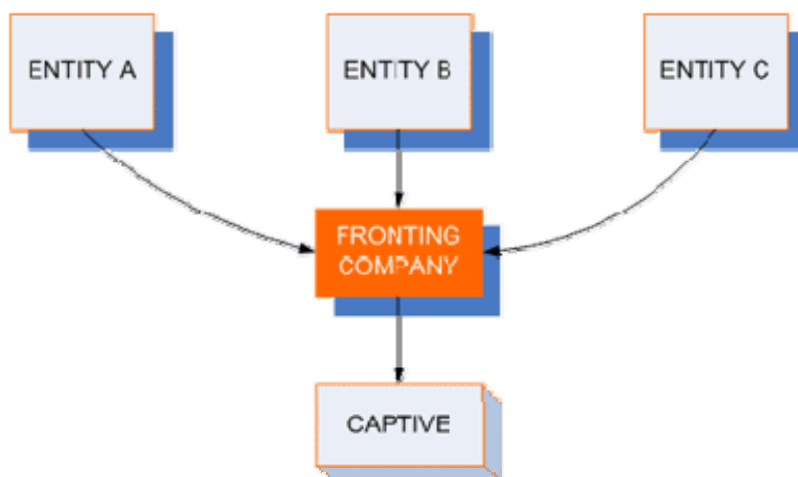
ハワイは非営利キャプティブの設立を認めている唯一の設立地です。これによって多くの医療機関や教育機関に税制上の恩恵をもたらすことができます。

代表的なキャプティブの構成

直接保険キャプティブ: 直接保険キャプティブは保険証券を直接発行することになります。目標保有額を超える部分についてはさらに再保険を確保することも可能です。



再保険キャプティブ: 再保険キャプティブは元受保険会社から再保険を引き受けることになります。



どのようにキャプティブを設立するか？

- ステップ1: ビジネスプランを作成する。設立地を選択し、主要サービスプロバイダーを選任する。
- ステップ2: 設立地の保険局と初期面談し、ビジネスプランを提示する。
- ステップ3: キャプティブ申請書を完成し、提出する。

- ステップ4： 保険局からの質問に答え、必要に応じてビジネスプランを修正する。承認を受ける。
- ステップ5： 会社を設立し資本金を注入する。
- ステップ6： 運営開始。

Stability Integrity Hawaii

キャプティブ FAQs

良くある質問

キャプティブとは？

キャプティブ保険会社とは、直接あるいは再保険という形でリスクを引き受けるために設立された法人組織です。キャプティブは、その親会社及び/もしくは関連会社、もしくは同様の法人(例：事業団体など)の対外責任とリスクを引き受ける保険会社です。

キャプティブの種類

キャプティブ保険会社は大きく三種類に分類されます。

- **ピュアキャプティブ:** 親会社及び関連会社のリスクを引き受ける保険会社
- **グループキャプティブ:** スポンサーとその関連会社といったメンバー組織のリスクを引き受ける保険会社
- **レンタキャプティブ:** 被保険者が必ずしもオーナーではない。オーナーが資本金を提供し、キャプティブを所有せず参加を希望する外部者に対してレンタキャプティブのスペースを貸し出す。

キャプティブの利点

- **コスト削減:** キャプティブが予想されるロスのために保険料を保有することによって、一般保険会社の間接

費や利益分とされる付加保険料を回避し、保険プログラム全体のコストを削減することができる。

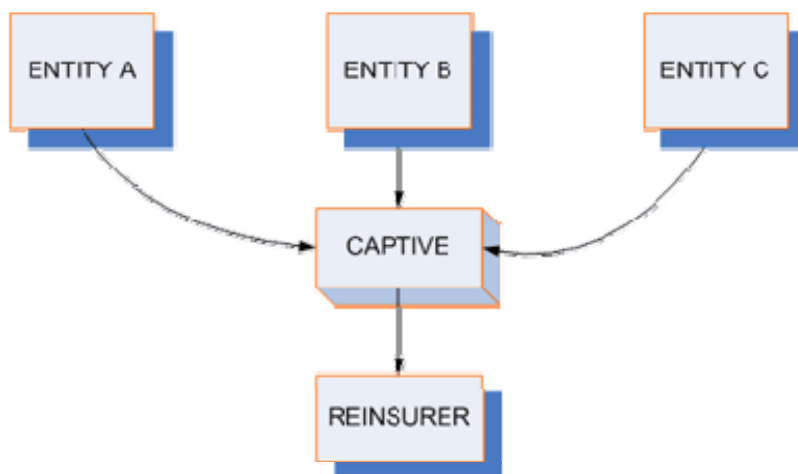
- キャッシュフローの改善：キャプティブが保険料の流れをコントロールできる。将来のロスを支払うために保有し、投資することが可能。この収入でキャプティブの運営費を相殺することができる。
- リスク管理の向上：一元化されたリスク管理プログラムにより、リスクコントロールの促進や改善が可能となる。
- 保険種目の可用性：キャプティブを利用してマーケットサイクルによる悪影響を緩和したり、被保険者が納得する保険料での保険継続が可能となる。
- 再保険市場へのアクセス：世界中の再保険市場へのアクセスが可能となり、プログラムコストの削減に役立つ。
- 保険プログラムの柔軟性：親会社が必要な保険ポリシーを作成することができる。

キャプティブの問題点

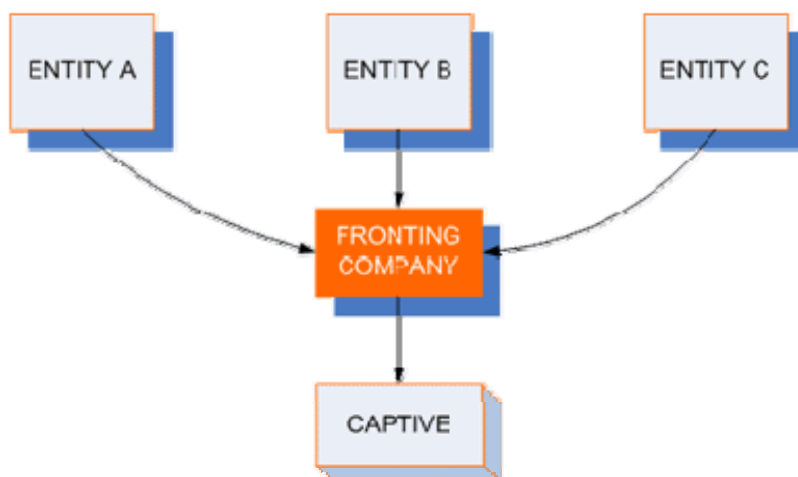
- 資本金：設立地の監督官庁が認める最低資本金が必要。
- 予想以上のロスの可能性：予想以上のロスが発生した場合には、キャプティブに支払責任があるが、一般的にキャプティブ・プログラムはそうした可能性を最小限に抑えるように構築される。
- 諸経費：キャプティブの設立並びに運営には費用がかかる。その費用は、設立費、マネジメント手数料、各専門家手数料、監督官庁から課せられる手数料や税金を含むがこれらに限定されない。また、オーナーあるいはスポンサーによるキャプティブに対するコミットメントが必要。

代表的なキャプティブの構成

直接保険キャプティブ： 直接保険キャプティブは保険証券を直接発行することになります。目標保有額を超える部分についてはさらに再保険を確保することも可能です。



再保険キャプティブ： 再保険キャプティブは元受保険会社から再保険を引き受けることになります。



どのようにキャプティブを設立するか？

- ステップ1： ビジネスプランを作成する。設立地を選択し、主要サービスプロバイダーを選任する。
- ステップ2： 設立地の保険局と初期面談し、ビジネスプランを提示する。
- ステップ3： キャプティブ申請書を完成し、提出する。

- ステップ4： 保険局からの質問に答え、必要に応じてビジネスプランを修正する。承認を受ける。
- ステップ5： 会社を設立し資本金を注入する。
- ステップ6： 運営開始。